

ケア便り 4月号

今回のケア便りでは**認知症**についてお話しします。

認知症とは、脳神経細胞の働きが低下する為、記憶力や判断力などの認知機能が低下し日常生活や社会生活に支障をきたす状態を指します。

認知症の種類

- ①アルツハイマー型認知症 ②脳血管性認知症 ③レビー小体型認知症
- ④前頭側頭型認知症

中でもアルツハイマー型認知症が最も多く、徐々に脳が委縮し、物忘れから始まってゆっくり進行する事が多いです。

認知症の主な症状

記憶障害

見当識障害

実行機能障害

行動心理症状

新しい事を覚えられない、同じ話を繰り返す

時間・場所・人が分からない

段取りや計算が出来ない、使用法が分からない

徘徊、不穏、幻覚、抑うつ等



何度も同じことを言う、聞く。



大切な物をなくしたり、置き忘れたりする。



火の消し忘れ、ガス栓の締め忘れ。



今、何時頃か、どこにいるのか見当がつかない。



簡単な計算の間違いが多くなった。



今まで好きだった物に対して興味・関心がなくなった。

認知症はだれにでも起こりうる病気ですが、過度な不安や心配は薬物です。慣れ親しんだ環境で、自分らしく生活するのも予防のひとつとなります。ケアではご自身で出来なくなった部分をサポートさせて頂いています。